

# 国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの  
メッセージ



## 踏み出したその一足が道になる

北九州市総務局女性の輝く社会推進室 女性活躍推進担当係長 永原 達朗

学生時代から英語に苦手意識があった私にとって、海外での勤務は想像したことすらありませんでした。しかしクレアへの派遣・シンガポール赴任のチャンスがあると聞き、迷わず踏み出した瞬間から、私の世界は一気に広がっていきました。

東京本部で勤務した1年間、勤務時間中は担当業務に全力を注ぎ、勤務時間外に必死で英語学習に励むという生活でした。その甲斐あってか、海外赴任直前に実施された英語プレゼン実践講座では、大好きなプロレスの奥深さについて、熱く英語で話すことができました。

シンガポール事務所では海外の自治体職員向け研修や広報事業などを幅広く担当させていただきました。国や自治体からの出向者や現地採用の調査員など、多様なバックグラウンドを持つ同僚らとともに、ああでもないこうでもないと言いながら、試行錯誤する日々は刺激的で忘れられません。クレア派遣の集大成ともいえるクレアレポートも苦しんだ末に何とか世に出すことができ、胸をなでおろしながら、しかし新型コロナウイルス感染症に追いつてられるように帰国したのが昨日のこのように感じます。

クレアでの業務を通じて学んだことは、綿密な事前準備の大切さです。特に海外での事業では、どれだけ細かく準備をしても、当日予定通りにいかないことが当たり前。しかし、事前準備の段階でしっかり想像力を働かせることができていたかが、いざ想定外の事態が起きた時の行動に直結することを、身をもって何度も体感しました。こうした経験から、「事前準備には豊かな想像力を、当日対応には迅速な行動力を」と意識しながら業務に努めています。

派遣中にはプライベートでも得難い経験を数多くさせてもらいました。現地ですでた友人とのプロレス観戦（シンガポールにも素晴らしいプロレス団体があるので）、コーラス仲間とナショナルスタジアムで歌ったことなど、

刺激的な活動ももちろんですが、異国の地で家族と支えあって過ごした日常生活の全てが、いつまでも色褪せない私の宝物です。



当時のクレアシンガポール事務所の皆さんと

帰国してから3年半が経ちますが、新型コロナウイルス感染症対策室での緊急対応、企業の海外ビジネス展開支援、世界体操・新体操選手権北九州大会における感染対策担当、日本初となる国際会議「Horasis アジアミーティング」の開催、女性活躍の推進など、国際分野にとどまらず、さまざまな部署での経験を短期間で積ませていただきました。大変な時もありましたが、何とか乗り越えてこられたのも、クレアでの経験があってこそだと感謝しています。特に国際会議の開催は、語学力、ロジ調整力、危機対応力など、私のキャリアで積んできた経験をフル動員できる、これ以上ない機会だったと感じています。

最後になりましたが、沢山の出会いと貴重な経験をくれたクレアという組織に、私をクレアに派遣してくれた北九州市役所に、一緒に仕事をしてくださった上司・同僚に、支えてくれた家族に、そして出会った全ての皆様にご挨拶をしてお伝えして、このエッセイを締めくくりたいと思います。本当にありがとうございました!!

### プロフィール・ほか

クレア在籍時の所属：  
2017年～2018年 多文化共生課  
2018年～2020年 シンガポール事務所